



# 新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

## 本物に出会い、体験する秋

校長 佐藤 朗子

9月も暑い日が続きました。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉どおり、朝晩は風が涼しくなりましたが、日中の暑さは続いています。この暑さの中、子どもたちが集中して教室で学習するため、そして熱中症を防ぐために、校舎内のエアコンは欠かせません。横浜市立の全校にエアコンが設置されてから、まだ10年。それ以前は、エアコン無しで夏を過ごしていたとは、今は考えられません。その大切なエアコンが、6年生の4教室で故障してしまいました。そのため、6年生4クラスは、外国語教室や音楽室などの特別教室や、広い廊下も利用して学習しています。保護者懇談会や教職員の研修会場としても使っているエアコンの効く広い廊下は、今回も役に立っています。6年生の子どもたちには、教室の移動で不便をかけていますが、いつもとは異なる場所で学習したり給食を食べたりすることは、楽しい経験でもあるようです。前向きにがんばっている子どもたちに、感謝です。

スポーツフェスティバルに向けて、各学年の競技・演技の練習、実行委員、応援団やリレーなどの活動も活発に行われています。同時に、校外に出かける行事や芸術に触れる行事も実施されています。

9月24(日)～25(月)には、4年生が上郷宿泊体験学習に行ってきました。4年生にとっては、初めての宿泊行事でした。上郷森の家で友達と過ごす子どもたち、本当にうれしそうでした。

9月27日(水)には、5年生が横浜みなとみらいホールで、オーケストラを鑑賞してきました。横浜市では、子どもたちが本物の文化・芸術に触れる取組を進めています。その取組の一つである、この「心の教育ふれあいコンサート」は、みなとみらいホールが開館した1998年から、横浜市立小学校・特別支援学校の児童を対象に実施されています。

そして昨日は、文化庁の巡回公演として演劇倶楽部「座」の民話劇を鑑賞しました。本公演を前に9月14日にワークショップが行われ、4～6年生の子どもたちは、「分かりやすい発音」について体験を通して学びました。本格的な舞台、和楽器の生演奏による音楽、そして俳優の皆さんの素晴らしい語りと演技。子どもたちは物語の世界に引き込まれていったことでしょう。

現在、インフルエンザ・風邪症状の欠席者が増えています。今回、体験することができなかった子どもたちのためにも、本物の芸術に出会う機会をこれからもつくっていきたいと思います。

11月30日には、日中韓都市間文化交流事業として、横浜市のパートナー都市である中国泉州市と韓国光州広域市から伝統音楽の演奏家が来日し、4年生から6年生に向けて演奏をしてくれます。今年度、横浜市立の小学校、中学校から1校ずつが、交流する機会を得ました。中国の「南音(ナンイン)」、韓国の「竹禪房(ジユクソバン)」は、どちらも伝統的な音楽だそうです。小学校の音楽の学習では、4年生で韓国の打楽器による音楽「サムルノリ」、5年生で「世界の楽器のひびき」、6年生で日本の伝統音楽である雅楽「越天楽」を鑑賞します。子どもたちは、奏でる楽器や、その音色の似ているところや異なるところを聞き取り、それぞれの音楽のよさに気付くことができると思います。

前期もあと1週間になりました。来週は、個人面談が、14日にはスポーツフェスティバルが予定されています。これからも保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。